

私の一文字

アフリカ PT
委員長
岩井 睦雄

日本たばこ産業
取締役会長



「本質」に向き合い、考える

会員の方が思いを込めて選んだ一字に、書家の岡西佑奈さんが命を吹き込む「私の一文字」。今月は、岩井睦雄アフリカPT委員長にご登場いただきました。

岡西 「本」という文字は、「木」の根となる部分に一本線が入っています。根が張るように、この最後の一画を強調してぐっと押し込むようにしたためました。「本質」という言葉にも使われているこの文字への思いを伺えますか。

岩井 目先のことに忙殺されがちなのですが、やはり一歩引いて全体像を見ること、そもそも本質は何だろうかと考えることが、経営をしていく上では大切だと思っています。原点に戻るとのことですね。それを示す「本(ほん・もと)」という文字を、自分自身の生き方としても大事にしてきたと思って、今回選びました。

岡西 本がお好きだということも、この文字を選ばれた背景にあるとのことですが、読書は昔からお好きでしたか。

岩井 そうですね。楽しみとして興味の赴くままに読んできました。ページを開いた瞬間にその世界に入り込めるのが、本の楽しみだと思っています。違う世界に視点を切り替える経験は、現実を客観的に捉える際にも役立ちます。

岡西 同じ本でも人それぞれ読み方が違うように、想像力をかき立ててくれるのが本の醍醐味のような気がします。

岩井 哲学系の本を読むこともあるのですが、その際は言葉の元々の意味を捉えることがすごく大切だと感じます。今、若者向けの私塾のようなことを行っているのですが、

そこでは、資料を一切使わずナラティブだけで発表してもらっています。すると、きちんと言葉を掘り下げて考えたかどうかが如実に表れます。例えば「リーダーシップ」について語るとしたら、その言葉の本質に向き合い、自分に引きつけて考え、また普遍に戻るという思考が求められるようになると思っています。

岡西 気持ちのぶれは誰しも起こるものですが、もとに戻するためには、何を養っていけばよいのでしょうか。

岩井 内省する時間を持つことが絶対必要だと思います。一方で、広く世界を見ることも大事です。例えば、今起っていることと歴史上で起こったことを重ねて考えてみると、起こり得るシナリオを考えられるようになってきます。絶対的な正解がない中で、いかに軸を持って行動できるか。内省と広い視野の掛け合わせがそこに影響してくると思っています。

岡西 最後に、経済同友会で委員長を務められているアフリカPTについても教えてください。

岩井 アフリカはこれから人口が大きく増えていく地域です。今後の経済成長が大いに見込まれる地域と、成熟した日本とお互い手を組んでウィンウィンになればよいと思って、活動しています。アフリカに行ったことがない人も多いと思いますが、ぜひ現地を訪れて活気を感じてください。リスクもありますが、ビジネスチャンスも大きい地域です。今からどのような手を打っていくのか、関心ある皆さんと考えていきたいと思っています。



書家
岡西 佑奈

1985年3月生まれ。23歳で書家として活動を始め、国内外受賞歴多数。